

**3月3日(土) 浦佐毘沙門堂裸押合大祭が行われました**

普光寺で浦佐毘沙門堂裸押合大祭が開催され、前夜祭とあわせて延べ115,000人が歴史ある祭礼を楽しみました。この祭りは約1,200年の歴史を持つといわれ、江戸時代に出版された「北越雪譜」にも「堂押」として記録されています。

昼は稚児行列や福餅まきなどが行われ、夜はローソクの炎が普光寺境内を照らし出す中、水行や押合いなどが行われました。

「浦佐毘沙門堂の裸押合」は3月8日(休)に、国の重要無形民俗文化財に指定されました。



**3月2日(金) 南魚沼市図書館の来館者数が100万人となりました**

平成26年6月に開館した南魚沼市図書館は、3月2日(金)で来館者数が100万人となりました。

100万人目の来館者は、親子で絵本を借りにきた高野梨沙さん〔小栗山〕でした。

高野さんは「ありがとうございます。南魚沼市図書館の魅力は、買い物ついでに利用でき、便利なことです。子どもの本を借りに、これからも利用したいと思います」と、語りました。



**2月17日(土) 第34回しおざわ雪譜まつりが行われました**

ふれあい広場を主会場に、第34回しおざわ雪譜まつりが開催されました。このまつりは、「北越雪譜」の著者である鈴木牧之の功績をたたえるまつりで、主会場では里山伏が行う大護摩の炎とろうそくのともし火があたりの雪を幻想的に照らし出します。

雪が降り冷え込みましたが、来場者はグルメテント村などで温かいものを食べて体を温め、歌舞伎公演、福餅まき、ステージイベントなどを楽しんでいました。



**2月16日(金) 考える避難訓練が行われました**

第二上田小学校で、危険な場面において、避難先と避難方法を自ら考え行動し、危険回避に対する考え方を身につけることをねらいとした避難訓練が行われました。児童は、事前に不審者が侵入した場合どこにどう逃げるかを学習し、熊が校内に侵入したという想定で避難訓練を行いました。

村山稔校長の「玄関から遠く、鍵のかかる教室など、考えて避難していました。避難訓練だけでなく、生活していく中でも考えながら過ごしてほしいです」と話し、児童は真剣に聞いていました。



**交通栄誉章 緑十字銀章を受章**

【問合せ】環境交通課 ☎773-6666

勝又義一さん〔美佐島〕と貝瀬京子さん〔沢口〕が、交通栄誉章緑十字銀章を受章しました。

1月19日(金)、文京シビックホール〔東京〕で長年にわたり交通安全活動に尽力した功労者に全日本交通安全協会から緑十字銀章が送られました。

勝又さんと貝瀬さんは、(公財)南魚沼交通安全協会役員、市交通指導員として活動し、地域の交通事故防止に貢献されています。



左から貝瀬さん、勝又さん